

(仮称) 新福祉社会館に係る議員間討議結果による市議会としての最大公約数の意見
についての私的意見

佐藤 宮子

議員間討議による市議会としての意見のとりまとめ、ありがとうございます。

議員間協議を経て市長宛てに出した意見について、市民検討委員のひとりである私ごときのコメントなど必要ないと思うものの、委員会の議論の参考資料として提出されたものですので、何らかの見解を示すことも必要かとも思います。

しかしながら委員会としては、基本計画(案)とパブコメの意見をまとめるだけでも時間が足りないのではないかと思いますので、この市議会の意見に対してのコメントを検討する時間は持てないのではないのでしょうか。というわけで、事前に私的意見を届けさせていただきます。

1 福祉総合相談窓口について

庁内の福祉総合相談の体制等について検討すべきという意見には賛成です。ただし、その具現化の上で場所を決定するという点については疑問を感じます。なぜなら、①その具現化案については社会情勢によって数年で変化することも考えられ、それを待っての建設はかなり遅れること ②たとえ庁舎内に福祉総合相談窓口があったとしても、福祉社会館内にも個別課題だけではなく複合的な気楽な相談窓口が必要であることから、福祉社会館には要らないという論には疑問を感じます。

2 小金井悠々クラブ連合会事務局について

公共施設をいくらかでも増やすことができる状況にあるのであれば、(仮称)新福祉社会館に入りたいという考え方も否定できないわけではないですが、以前に入っていたからという理由だけで導入することは疑問を感じます。高齢者の福祉については地域包括システムとも合わせて考えていくこと、これからの他の福祉施策を合わせて考えると、この団体の事務局だけが特別に優遇されることについては疑問を感じます。

3 地域の高齢者サークル等の居場所について

高齢者サークルなどの活動場所の確保については、現在(案)でも否定しているわけではなく、優先予約などについては現在の小金井市の公民館の制度ではできず、旧福祉社会館にあった集会施設においてのみ可能であった仕組みなので、現在(案)の会議室・多目的スペース・多目的室・マルチスペースで、充分対応できると考えます。

4 シルバー人材センターについて

シルバー人材センターについては、市の中央部という要望があることは理解できますが、別の場所での運営も可能であることから、優先順位は低いと認識しています。

5 福祉共同作業所について

作業所については、別場所での運営がすでに進んでいることから、それを継続していく方向で、よりよい運営体制などを考えていく方が現実的と考えます。もちろん、(仮称)新福祉社会館の施設利用や会館内の作業を担うことなどについては当然と思いますし、柔軟に連携を取っていくことが必要だと思えます。

<案>

小金井市長 西岡真一郎 様

(仮称) 小金井市新福社会館建設市民検討委員会

(仮称) 小金井市新福社会館建設 基本計画 (案) 提出にあたって

(仮称) 小金井市新福社会館建設市民検討委員会は、7回の会議を開催し議論を重ねて基本計画 (案) をとりまとめました。提出にあたりまして、以下のことをご検討いただきたくよろしくお願いいたします。

- 1 基本計画案については、市民検討委員会が設置されましたが、建設基本設計・実施設計の段階においても、市民の意見を取りまとめる機会を設けていただきたく、以下の理由を添えてお願いいたします。
 - (1) 以前の計画とは異なり、(新) 福社会館と新庁舎を同じ敷地内に建設する形となりました。そのことにより、配置や建物の階数なども含め、相互の計画の調整・検討が必要になり、基本設計・実施設計の段階での微調整も想定されることから、それらについての市民の意見を吸い上げる場が必要であること
 - (2) 基本計画 (案) についてのパブリックコメントの中には、運営方法や庁内での行政の仕組み等に触れているものも多く、基本計画段階でなく、基本設計もしくは実施設計に関する意見を届けたいという市民の意思が強いこと
- 2 (仮称) 小金井市新福社会館建設基本計画 (案) では、その管理運営方法について触れましたが、それについては市役所庁内の方針や組織のありかたとも関連して、今後さまざまな手法も考えられることから、実施までの間にさらに検討を重ね、よりよい仕組みで管理運営できるよう努めていただきたいと思います。